

2026年 SUMMER YA通信

『YA通信』は、和光市図書館の中高生向け情報を3・6・9・12月の年4回発信している情報誌です。



YAとは、Young Adult(ヤングアダルト)の略称で、中学・高校生を中心とした10代の「子どもでも大人でもない世代」を指した〈若い大人〉という意味を持ちます。
『児童書だと幼すぎるし、一般書だと難しくて読む気にならない…』そんな世代に向けて今話題の本や、進学・職業に関する本、ライトノベルなどを集めた〈YAコーナー〉があります。自分だけの一冊を探しに、図書館に来てみてください。

YA講座

迷いが自信に変わる！

10代のためのファッション & パーソナルカラー講座



「どんな服を着ればいいのか分からない…」

「自分に似合う色ってどんな色？」

…服選びに迷っていませんか？



服選びを楽しむ方法や、シーンに合った着こなし等について、たのしく学びます。自分に合うパーソナルカラーを知ることができます！

- 日時** 7月26日(日)13:30~15:30
- 対象** 市内在住または在学の中学生・高校生30名
- 場所** 和光市図書館本館 会議室
- 申込** 7月1日(水)9:30から メールにて(先着順)

講師は色彩プロデューサーの **松田 薫 さん**！
パーソナルカラー診断やファッションに関わるイベント・講演活動など、さまざまな活動をされています。



埼玉県立和光高校からの寄贈本

埼玉県立和光高校は、埼玉県立和光国際高等学校と統合されることとなり、2026年3月の最後の在校生の卒業式をもって、この地での54年間の歴史に幕を閉じることとなりました。

この地の教育の充実と発展に尽力されてきた関係者の皆さまに敬意を示すとともに、生徒や教職員、地域の方々が、青春の日々を振り返られる場を残すために、和光市図書館下新倉分館では、郷土行政資料コーナーの一角に「和光高校のおもいで」コーナーを設置する運びとなりました。

また、和光市図書館本館では、和光高校より寄贈いただいた資料の展示を4～5月に行い、現在はYAコーナーの棚に並んでいます。

今回は和光高校から、本館・下新倉分館に寄贈いただいた資料をご紹介します。

埼玉県立和光高等学校

1972年4月1日～
2026年3月31日

開校記念日：5月26日



和光市図書館 本館

本館では4月24日(金)から5月27日(水)までの期間、YAテーマ展示コーナーにて「埼玉県立和光高校から寄贈された本」の展示を行いました。

主に、イラストの描き方の資料や中高生が読みやすい文庫本などを中心に受け入れしました。展示終了後の現在は、ほとんどの資料がYAコーナーにあります。

また5月に、40冊近くの資料を新たに受け入れしました。新しい資料は、YAコーナーをはじめ、一般書や児童書にもあります。「和光高校」のスタンプが押してある本を見かけたら、ぜひ借りてみてください。

「埼玉県立和光高校から寄贈された本」展示



イラストの描き方の本

大学入試やお仕事本も多数

YA世代におすすめ・人気の本もあります



下新倉分館

下新倉分館では、郷土行政資料コーナーの一角に「和光高校のほんだな」コーナーを設置いたしました。分館のほんだなには、和光高校図書室からお引越してきたネコバスとトトロも、みなさんをお待ちしております。

ぜひ会いに来てください。

「和光高校のほんだな」をのぞいてみよう！



トトロはここにいるよ！

ネコバスはここ！

マンガの描き方本多数！

柔道家
嘉納治五郎大系



オスス×のー冊



YAコーナーオスス×本

『学校では教えてくれないゆかいな日本語』

今野 真二 // 著 河出書房新社

資料コード:12131668(本館) 52001417(分館)

分類:Y810

「濁音がつくことばは不快感を表してる?」「怪獣の名前にはラが付きがち?」「“人一倍”って一倍じゃないよね?」
毎日使っている日本語に感じている「なんとなく」を、いろいろな角度から分析し、解説しています。単にフィーリングで使い分けているかと思ったら、語の成り立ち・歴史から紐解いていくと、実は納得の使われ方だったという例も。

ことばって奥が深い!

ぜひ気になったところから、読んでみてください。



YAコーナーオスス×本

『SNS時代のメディアリテラシー』

山脇 岳志 // 著 筑摩書房

資料コード:12149421(本館) 52020330(分館)

分類:Y361

情報機器の発達により SNS は私たちの生活に深くとけ込み、誰でも簡単に発信が可能となりました。

しかし、情報であふれる現代だからこそ、SNS に限らず各種メディアと上手に付き合う必要があります。流れてきた情報を鵜呑みにせず、主体的に読み解く能力を求められているのです。

「メディアリテラシーという言葉聞いたことはあるけれど…?」そこからもう一歩、踏み込んでみたいあなたへおすすめのー冊です。



中学生

君の火がゆらめいている
落合 由佳 // 作
講談社



葉澄は障害のある双子の姉のことを思い、彼女の生活を手伝う毎日を送っていた。しかし次第にその気持ちがゆれはじめ…。いつもわたしが、我慢しなくちゃいけないの？障害や重い病気のある兄弟・姉妹がいる子ども——「きょうだい児」の葛藤を描く感動作！

チーム・テストならだいじょうぶ
カービー ラソン // 作 クイン ワイアット // 作
杉田 七重 // 訳 鈴木出版



中2の転校生テストは、手作りお菓子作戦で友だち作りに成功。学校生活が楽しくなるが、時々襲ってくる腹部の激痛に苦しむ。焼き菓子コンテストに挑戦するテストを支えながら、クローン病を発症したテストに寄り添うチーム・テスト。厚い友情と希望を描く青春ストーリー。

リュウグウの砂に挑む
チームで小惑星のサンプルを分析
伊藤 元雄 // 著 くもん出版



小惑星探査機「はやぶさ 2」が、小惑星リュウグウから採取した砂を地球へ持ち帰りました。様々な分野の研究者たちが、砂の分析に挑み、ついに「生命のゆりかご」ともいえる重要な手がかりを発見しました。

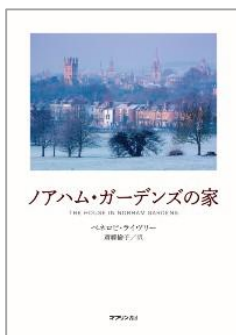
高校生

スウィッシュ！
藤ノ木 優 // 著
徳間書店



自分にもきっと新しい可能性がある。運動が苦手なキャプテンと骨折したエース。ふたりの絆が奇跡を起こす、青春バスケ小説。
高校生最後の大会であふれた友情と家族愛が心に響きます。

ノアハム・ガーデンズの家
ペネロピ ライヴリー // 著
斎藤 倫子 // 訳 ゴブリン書房



1970年代のオックスフォード。古い家に大おばと暮らすクレアは、物置で見つけた異国の楯をきっかけに、奇妙な夢を見るように…。文明と文化、場所や物にまつわる記憶、若さと老いについて、私たちに深く考え、感じさせる物語です。

平和のうぶごえ
「原爆の子」として生きた80年
早志 百合子 // 著
毎日新聞出版



世界中で読み継がれる、広島市の被爆少年少女の体験手記『原爆の子』。最晩年を迎えたその執筆者らがいま伝えたいこと。
決して平和を諦めない「原爆の子」たちから現代の若者へ送る、生きるためのエール！